

科目名		担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
歴史学		望月 秀人	講義	2		2	4	3
授業概要 授業目的		西洋近代は明治時代以来、長らく日本にとっては追いつくべき模範でしたが、現在ではそうした西洋中心主義は批判され、むしろ他地域と対等に比較すべき一対象となっています。本講義ではそうした状況を踏まえつつ、西洋近代社会の成り立ちと展開を概説的に講義することで、日本にとって何を見習うべきであり、何を見習うべきでないのか、学生の皆さんと考えていきたいと思います。						
到達目標		西洋近代史を概説的に理解でき、主に日本と比較しながら社会のあり方の歴史的变化を追い、現代社会の成り立ちを知ることができる。						
回	学習内容							
1	ガイダンス：シラバスの説明、歴史学の意義など							
2	大航海時代：世界の一体化							
3	「宗教戦争」：宗派分立と「世俗化」							
4	封建制から「絶対王政」へ：国家統合の進展							
5	「絶対王政」の意義と限界：近世国家の限界							
6	新たな社交の場の形成：「世論」の形成へ							
7	「市民革命」：近代国家と立憲主義							
8	ナショナリズムの時代：国境問題との関連で							
9	工業化とその影響：ヨーロッパの覇権へ							
10	第一次世界大戦の衝撃：総力戦の時代							
11	国際法の発展：戦後処理の変化							
12	世界恐慌の時代：ブロック経済、ニューディール政策、福祉国家、ファシズム							
13	ファシズムの脅威：ナチズムと日本の異同							
14	第二次世界大戦：ファシズム・社会主義・資本主義							
15	授業内試験							
予習内容 復習内容		新聞で時事ネタ等に関心をもち、社会の課題について敏感になりましょう。後は講義内容の復習をしてください。						
教科書		特にありませんが、山川出版社の高校世界史教科書程度のものは持っていた方が便利。参考文献はレジュメに掲載します。						
成績評価		試験 60%、レポート 40%で判断します。試験は紙媒体持ち込み可の論述試験で、講義内容に即して回答するものとします。レポートについては講義の際に説明します。						
実務経験								
その他 特記事項		学生としてふさわしい受講態度で受けて下さい。						